

2. 消防施設

1. 消防機械

消防機械は、消防力の強化により年々向上増強されており、10年前と比較すると、消防ポンプ自動車（水槽付を含む）は0.98倍、救急自動車は1.12倍、はしご付消防車は1.02倍になっている。

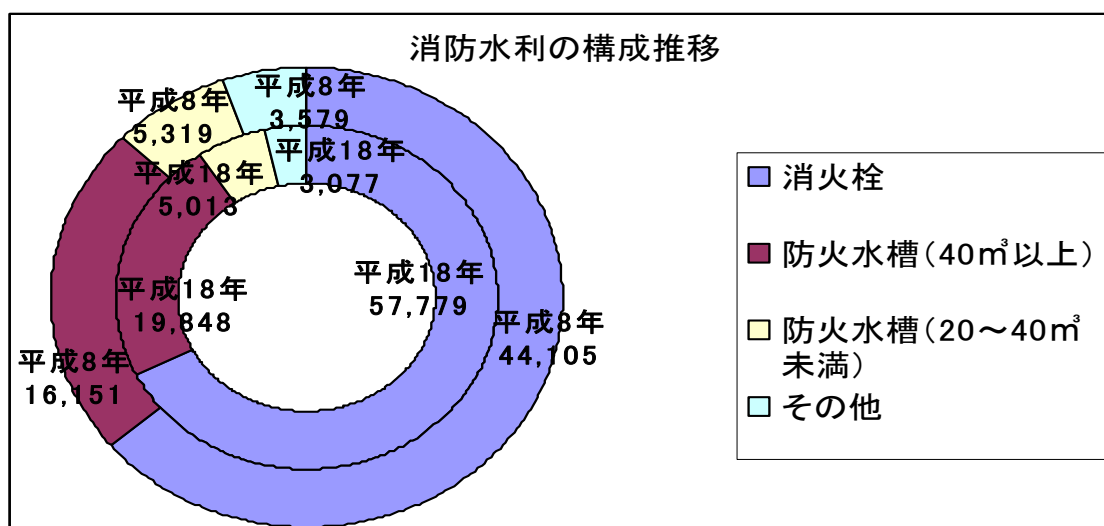
はしご付消防車は、屈折はしご車が5台、はしご付消防ポンプ自動車（ポンプ付でない車両を含む）が60台であり、計65台となっているが、建物の高層化により30m級以上のものが約9割を占めている。

救助工作車は51台あり、10年前の44台と比べると1.16倍の伸びである。

2. 消防水利

消防水利は火災鎮火のため不可欠のものであり、消火栓、防火水槽及び河川等がある。消防水利は宅地開発と水道の普及が影響して消火栓の伸びが大きい。大地震及び大火に備えて防火水槽の増加を一層図っていく必要がある。

消防水利名	平成18年4月(a)	平成17年4月(b)	(a)-(b)	(a)/(b)×100(%)	
消火栓	57,779	56,738	1,041	101.8	
防火水槽	40 m ³ 以上	19,848	19,600	248	101.3
	20 m ³ ～40 m ³ 未満	5,013	5,125	-112	97.8
井戸	542	541	1	100.2	
その他（自然水利等）	2,535	2,755	-220	92	



10年前と比較してみると、消火栓は13,487(1.31倍)の伸びであり、40 m³以上の防火水槽は3,691(1.22倍)の増加であり、また20～40 m³の防火水槽は306(0.94倍)の減少である。